

物価が高騰する中でも、給食の質を維持します！

新型コロナウイルス感染症や社会情勢の影響により原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰が続いており、学校給食に使用する食材の価格も上昇しています。

玉ねぎやじゃがいもなどの野菜類、揚げ物に使用する「なたね油」など使用頻度が高い主要品目で見ると、コロナ禍前の令和元年度と比べて、今年1月から7月の平均単価は約25%値上がりしています。

神戸市では、このような状況の中でも、保護者の皆様に追加の費用をご負担いただくことなく給食の質を維持するために、今年の6月および10月に補正予算を計上し、必要となる経費を公費で負担しています。

今後も引き続き子供たちの食育や学校生活の楽しみにつながる学校給食を提供していきます。



放課後、運動場で思い切り遊ぼう！

小学校では、児童が安全に思い切り運動遊びができる場を提供するために、週1回1時間程度、放課後に運動場等で児童と一緒に体を動かして遊ぶ、大学生の「運動遊びサポーター」を配置する取り組みを進めています。今年度は約40校で順次実施予定です。

●サポーターの役割

- ・児童と一緒に鬼ごっこやドッジボールをしたり、体を動かす新しい遊びを一緒に考えたりすることで、児童が楽しく遊びながら運動に親しめるよう促します。
- ・学年の違う児童同士で遊ぶきっかけを作るなど、児童の交流も深めながら、より楽しめるように工夫します。



(千代が丘小学校での様子)



児童の声

大学生のお兄さんと鬼ごっこをして遊んだのが楽しかった。これから毎週来てくれるのが嬉しいです。次はドッジボールやバスケットボールもしたいな。みんなで体を動かしていろいろな遊びができるのが楽しみです。

部活動の地域移行に向けて

部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。現在、全国的に少子化が進行し、本市でも部活動の維持が困難になったり、競技・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得ないことで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなりつつある状況があります。

●地域移行を見据えた取り組み

本市では、地域移行を見据えた取り組みとして、国の事業を活用した民間事業者への委託によるモデル事業を実施し、検証を行っています。

- ・令和3年度
学校単位の部活動を対象に検証
- ・令和4年度
複数の学校が合同で実施している拠点校部活動を対象に検証

●「部活動の地域移行のあり方検討委員会」の設置

どのような形で地域移行が可能なのか、望ましいのか、有識者などの意見を聞くため、検討委員会を設置しました。これまでの部活動の取り組みを検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方を検討していきます。

検討課題

- ・生徒のニーズに応じた活動の受け皿・指導員確保のあり方
- ・地域移行に伴う経済的負担のあり方
- ・平日部活動と休日の活動との連携・調整のあり方 など

今後、生徒や保護者の皆様を対象としたアンケート調査も予定しています。多様なご意見を反映させながら、子供たちにとって充実した活動となるよう、検討を進めていきます。

神戸市とスタンフォード大学との連携プログラム

神戸市では世界で活躍するグローバル人材を育てるため、米国スタンフォード大学が日本の高校生向けに提供しているオンラインの教育プログラムと連携した「Stanford e-Kobe Program」に昨年から取り組んでいます。

今年度(令和4年9月から令和5年3月)は市立高校等から21人が参加することになり、9月17日(土)に開講式が開かれました。開講式では受講生がスタンフォード大学の博士らに英語で自己紹介や意気込みを語りました。



●カリキュラム内容

英語力の向上のみならず、論理的思考力や課題解決力を養うとともに、受講生の継続的な学習意欲と向上心を引き出すことを目的とした教育プログラムです。

- ①「格差問題」「起業家精神」「多文化共生」「多様性」の4テーマを設定
- ②全編英語・オンライン(1回は対面開催)
- ③事前の講義視聴(テーマに関するリーディング、ライティングによる予習、課題提出)
- ④グループディスカッションによる受講生同士、講師と受講生の意見交換
- ⑤ファイナル・プレゼンテーション

神戸モデル標準服について

●背景

市立中学校の標準服(制服)の販売価格は近年上昇傾向にあり、保護者の経済的負担の軽減が課題となっています。また、性別にとらわれないなど、様々な個性に応じた標準服が必要とされています。こうしたことに対応するために「神戸モデル標準服」を作成しました。

●今後の取り組み

(1)令和5年度の採用予定校

令和5年度に義務教育学校に移行予定の八多中学校で採用を予定しています。

(2)令和7年度には、市立中学校全校で希望する生徒が「神戸モデル標準服」を購入・着用できるよう、各校で検討を進めます。

- ・学校独自の標準服をモデルチェンジする際に採用を検討します。
- ・現行の学校独自の標準服と「神戸モデル標準服」が混在する学校や、「神戸モデル標準服」にモデルチェンジを行う学校など、各校の状況に応じた柔軟な対応を図ります。
- ・各校の検討計画などについては、別途各校から発信されています。ご確認ください。



令和5年度に八多小・中学校が義務教育学校へと移行します

令和5年4月より、八多小学校と八多中学校は、市内の農村・里山エリアで初となる市内で2校目の義務教育学校に移行します。小規模校のメリットを最大限に活かした、八多だからできる、八多でしかできない特色ある小中9年間の一貫教育を実施します。

●9年間の学びを見据えた4・3・2制

4・3・2制とは、義務教育の9年間の前期(4年間)、中期(3年間)、後期(2年間)の3ブロックに区切り、9年間の学びを見据えたきめ細かな教育を行うほか、幅広い異学年交流により、社会性やリーダーシップを育むことができる義務教育学校ならではの教育システムです。

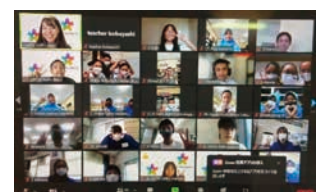


●特色ある教育

小中教員による協働授業 中学校教員による5・6年生への教科指導や、小学校教員と中学校教員の連携による協働授業を実施します(※一部教科)。	グローバル・コミュニケーション力の育成 1年生から外国語活動を実施し、高い語学力とともに異文化理解力、コミュニケーション力を育みます。
世界とつながるICT教育 ICTを積極的に活用し、海外との交流授業を行うなど、情報活用能力やプレゼンテーション能力を高めます。	豊かな地域資源を活かした探究学習 地域の皆様の協力を得て、八多の豊かな自然、歴史、風土などを題材として「主体的・対話的で深い学び」を実施します。

●オンライン国際交流を実施しました

9月22日、フィリピン・インドネシアの学生とオンライン交流を開催！お互いの国の流行や文化を英語でプレゼンし、海外文化との共通点や相違点について、理解を深めました。



吉井満隆新教育委員からのメッセージ

令和4年10月30日より、教育委員会委員に就任いたしました吉井満隆です。

皆さんは、バンドー化学株式会社という会社をご存知でしょうか？会社名はご存知でなくとも「バンドー神戸青少年科学館」はご存知ではないかと思います。私は、企業経営者として働き方改革やコーポレート・ガバナンスなどの経営課題に取り組んでいますが、これらの課題は学校教育にも共通する課題ではないかと思います。委員就任に際して、経営者の視点から、よりよい学校づくりや地域づくりに貢献していきたいと思っております。

【プロフィール】

関西大学商学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科(MBA)修了。
昭和56年にバンドー化学株式会社入社。平成25年4月に同社代表取締役社長に就任。令和4年4月に同社代表取締役会長に就任。



吉井満隆委員

市立高校の花時計ギャラリー生徒作品展示のご案内

市立高校では、それぞれ学校の特色に応じて、職業観や勤労観の育成に取り組んでいます。特に工業高校では「ものづくり」技術の継承と最新技術の習得を通じて、新たな発想によるイノベティブな「ものづくり」を目的とした作品づくりを行なっています。

また、働きながら学ぶ市立定時制課程の高校では、作品づくりを通して、目的意識と学習・勤労意欲を養う学びを進めています。

さんちか通路(市役所地下連絡通路)にある花時計ギャラリーでは、以下の日程で、市立高校で学ぶ生徒たちが卒業前に製作・作成した作品を展示します。お近くにお越しの際は、是非ご覧ください。

●専門学科・総合学科・普通科単位制高校作品展示

令和4年12月5日(月)～令和5年1月10日(火)

神戸工科高校	(定時制 工業技術科)
科学技術高校	(全日制 機械工学科 電気情報工学科 都市工学科 科学工学科)
神港橋高校	(全日制 みらい商学科)
須磨翔風高校	(全日制 総合学科)
六甲アイランド高校	(全日制 普通科単位制)

●定時制高校作品展示

令和5年1月11日(水)～令和5年2月6日(月)

摩耶兵庫高校	(定時制 普通科)
楠高校	(定時制 普通科)
神戸工科高校	(定時制 工業技術科)

(昨年度展示の様子)



教育委員会へのご意見などはお問い合わせフォーム(教育委員会だよりのホームページ下部)
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

神戸市教委だよりの検索ボタン

